環境構築

・rugby\_akiya.ipynbをgithubからコピーする。

・Python3.6.8インストール

・Intel RealSence Viewer インストール

・Jupyter notebook インストール

・Import文で指定されているモジュールをすべてpipでインストールを行う

実行方法

・RecalesceカメラとPCをUSB3.0コードで繋げる

・コマンドプロンプト上でJupiternotebookを開く

・Jupiternotebookでrugby\_akiya.ipynbを実行する。

・実行後ウィンドウは左上が RGB 画像、右上が Depth カラーマップ、左下および 右下が MediaPipe によってランドマーク（関節点）を検出した様子。また、 Plotly 画像での各軸の見方は次のとおりである。

X：奥行（手前＋、奥－）

Y：水平方向（左足側＋、右足側－）

Z：鉛直方向（下向き＋、上向き－）

・被験者の位置を設定する。

・Enterキーで実行（録画開始）

・実行後ウィンドウ上の画像が停止するのでその状態で試技を行う。

・escキーで実行終了

・実行終了後、実行プログラムと同じディレクトリー内にフォルダーが作られ、保存される。

・Plotlyimages…Plotly画像

・recordingimages…RGB画像、Depth画像、MediaPipe画像

・CSVファイル…Plotlyでの各ランドマーク三次元座標